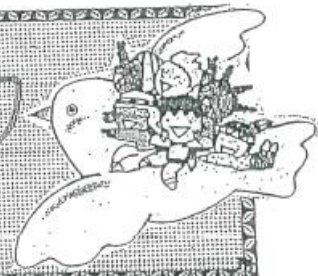


またまたネットワーク



おおさか北地域活動委員会 2024.7.29 No.87

北坂養鶏場では「つくら」「もみじ」の2種類は
国産鶏むすか
たまごを産む鶏のほとんど(およそ96%)は
外国産「種」の鶏。
もし外国の様々な事情(気候・戦争・病気
原油高騰などの経済的な問題など)に
よって輸入がストップすると、それに伴う
食品は全て生産できなくなります。

島の工

鶏糞をゴミとして捨てるのではなく、鶏舎の
中で堆肥になるよう分解を進め、鶏糞
処理場内で発酵・乾燥させ「島の工」と
いう商品になっている。
淡路島の大地を耕作に取り組みになっている
いろいろなものをエネルギーにすることで活
かされている。
始まったきっかけは、生協組合員の見学で、
1番思い出に残ったコトが「鶏糞」だと
言われ、何か活かせるようにと始めた。

えこ

- ・非遺伝子組み換えとうもろこし(6割)
- 大豆かす・米ぬか、菌を混ぜた発酵飼料
- ・ちりめん加工でゴミになる雑魚や
エビなど ※飼料のほとんどは輸入
- ・地下水 / 割合は地元のものを使っている

はたらく人 若い人が増えている

支える人 ファーマーで働く飲食店
見学に来る生協組合員・お客さん

鳥インフルエンザ

2020年に鳥インフルエンザが発生。
鶏か〇に。

鶏の殺処分から始まり、鶏舎の
清掃消毒作業を実施。
写真に残して展示。

いろいろな方々の支援で以前と
変わらないうちに養鶏場が
続けられていると。

「北坂養鶏場 学習会より」

